

森ノ宮医療大学保健医療学部臨床検査学科

上田 真喜子*

I. 大学の沿革と概要

森ノ宮医療大学(写真1)は、大阪湾の夕日が眺望できる恵まれた環境の下、大阪市内の主要ターミナル駅から30分、最寄駅「大阪市営地下鉄 コスモスクエア駅」から徒歩1分という好立地にあります。兵庫、奈良からのアクセスも良好で在学中の学生はもちろん、卒業生についても生涯を通じた学びの拠点として立ち寄れる立地条件です。

森ノ宮医療大学は、森ノ宮医療学園専門学校を母体に、平成19年4月に開学しました。当初は、

鍼灸学科と理学療法学科の2学科のみでしたが、平成23年4月に看護学科、および大学院保健医療学研究科(修士課程)が新設されました。そして、平成28年4月には、臨床検査学科(写真2)、作業療法学科、助産学専攻科が開設され、5学科1専攻科を擁する医療系総合大学へと発展してきました。さらに、平成30年には臨床工学科、大学院博士課程の設置が構想されており、医療系の総合大学として、さらに進化を遂げていく予定です。

本学は現在、5学科がひとつのキャンパスに集う大学であり、学科の枠を超えた幅広い医療知識



大学全景(航空写真)



大学全景

写真1 森ノ宮医療大学 全景

イーストポート：鍼灸学科、理学療法学科

ウエストポート：看護学科

キャナルポート：臨床検査学科、作業療法学科

*保健医療学部臨床検査学科 m-ueda@morinomiya-u.ac.jp



チャンネルポート(臨床検査学科)



チャンネルポート 1階ホール



チャンネルポート7階 オープンスペース

写真2 臨床検査学科(チャンネルポート)

を学ぶための専門職連携教育(IPE)を推進しております。5つの分野の相互連携により、チーム医療の基盤となるコミュニケーション能力やリーダーシップを学生の間に学んで、将来、臨床力が高くチーム医療に貢献する医療人として活躍できるように、その育成に取り組んでおります。現在、当大学の保健医療学部における各学科の定員数は看護学科 80 名、理学療法学科 60 名、作業療法学科 40 名、鍼灸学科 60 名、臨床検査学科 60 名であり、平成 29 年 4 月の時点では、1,155 名の学生が勉学に励んでおります。また、「臨床に優れた医療人を育成する」という建学の精神のもと、大阪府内の基幹病院を中心とした連携病院を数多く確保し、臨地実習の充実に力を注いでいることも、都市型医療大学ならではの本学の特長と言えます。

II. 臨床検査学科の教育目標と特徴

臨床検査学科の重要な使命は、臨床検査が必要不可欠な現代医療の現場に、優秀な臨床検査技師を数多く送り出すことにあります。近年は、画像検査技術の進歩が著しく、総合的な画像判断能力

が求められるため、当学科では、それに見合う最新の実習機器を配備し、画像診断検査に強い人材の輩出を目指しています。カリキュラムについては、1 年次は教養科目、学部共通の医学・医療の基礎科目を学修します。2 年次は臨床検査技師の礎となる専門知識の基礎を学修します。3、4 年次は、1、2 年次に学修した知識を基に臨床現場で活用できる知識・技術やチーム医療における自らの役割について学修し、さらには専門医療人としての知識・技術を身につけるため、実践的な実習に取り組みます。また、学修の総仕上げとして、卒業論文に取り組みます。

次に本学科の教員を紹介します。平成 28 年度開設時は、専任教員 11 名(教授 8 名、助教 3 名)が就任しました。専任教員は、医師資格を持つ教員 2 名、臨床検査技師資格を持つ教員 7 名、薬剤師の資格、柔道整復師(医学博士)の資格を持つ教員各 1 名で構成され、臨床における実務経験、あるいは医療系大学や大学院での教育経験を有しています。臨床検査技師の資格を持つ者は全員臨床経験 5 年以上であり、教授は 8 名全員が博士の学位を有しています。

また、臨床を重視する本学科の特徴は、臨地実習にあります。臨地実習受け入れの承諾をいただいた実習施設は、大学医学部附属病院や府立病院、市立病院を含む地域の基幹病院であり、ほとんどの施設で臨床検査の各部門が全て整っている環境であるため、質の高い臨地実習が可能です。臨地実習の受け入れ人数は84名を超えており、本学科の定員60名に対して十分な実習先が確保されています。学内の実習室としては、生理学実習室、形態系実習室、分析系実習室、顕微鏡室の4室があり、基礎的な技術指導が充分に行えるように環境を整備しています。また、臨地実習先で導入されている電子カルテ環境を想定した画像情報システムを導入し、最新鋭の超音波診断装置などの医療機器と接続し、学内実習においても医療現場のワークフローに近い環境を整備しています。

臨床検査学科は新設間もない学科です。学生も入学当初はぎこちなく過ごしていましたが、1年生後期になりますと医療系の大学生らしく勉強に取り組む姿勢がみられるようになり、現在は医療に貢献したいという強い意志や明確な目標をもって勉強に取り組んでいます。また、新設された学科の1期生として、学科の歴史を作っていくという強い気概を感じます。高齢社会における日本の医療では、臨床検査のさらなる発展が不可欠です。当学科では、臨床力が高くチーム医療に貢献できる臨床検査技師を数多く育成していきたいと考えております。これからは、伝統ある臨床検査学教育協議会の先生方のご指導を仰ぎながら、森ノ宮医療大学臨床検査学科の進化をすすめて、その歴史をつくっていききたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。